



質問 小学校再編、町長部局の増員を

町長 不十分だが、現状では困難

大垣 照子 議員

質問 小学校再編現地建て替えについては、民意がどこまで反映されたのか疑問。具体的構想を明らかにし、出された意見を尊重し、計画の中に取り入れ、練り直しを行い再度住民の前に示す。これを数回行い理解と了解を得る。合意形成を図るにはこの作業が必要。このままでは時間ばかり経過する。公聴会方式での意見集約の考えは。

教育長 公聴会方式も行ったが、全て答えられない状況もある。指摘されたことも考え、今後のミーティング等で同意を得るよう動きたい。

質問 何度も言っているが、学校再編に何が大事か、その成果を上げている学校

へ職員のパイプを。百聞は一見にしかずだ。

町長 教育長を先頭に行かせたい。

質問 取り組み体制は、現状でいいのか。町長部局はどう関わっているのか。

町長 調整を行っているが、十分であるとの認識はない。再編同意校区確定後の来年度以降、プロジェクトチームを立ち上げ、校舎跡地利用、通学方法確保等、対応を強化したい。

再質問 確定までが大変。大事業であるのに、再編に関わっている職員は僅か2人。町長部局から増員し、各分野ごとに作業・集約すれば先が見えてくる。確定に向けプロジェクト

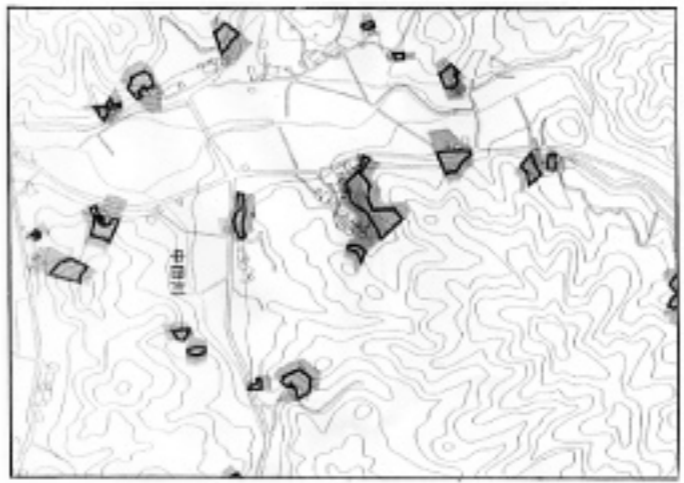
チームの早期設置を。

町長 人員の増員は現状では困難。教育魅力課の中の助け合いを言っている。

全戸配布のハザードマップについて

質問 全戸配布の土砂災害ハザードマップは、地図上に示されているが分からない。次回作成分は、航空写真上に示して。

町長 今回は、国土基盤情報を背景図としたが、貴重な意見として、次回作成の検討課題としたい。



現行のハザードマップ これでは分からない？

高齢者宅の除雪について

質問 今年も積雪シーズンを迎えたが、高齢者宅の門道除雪、自治会内での対応要請の徹底は。

町長 本町は、高齢者世帯への助け合い除雪の助成を行っている。今後も、自治会内での助け合い除雪への理解と協力を、町から繰り返しお願いをしていく。



質問 1戸対象の町単独鳥獣害防止対策事業の創設を

町長 1戸での助成事業の創設は考えていない

内田 精彦 議員

質問 少ない面積もあるいは1戸単独でも対象になる町単独の鳥獣害防止対策事業の創設ができないのか。

町長 1戸での助成事業の創設は考えていない。3戸以上の農家による共同事業として取り組んでいきたい。



イノシシに荒らされた圃場

町長 県境に位置する新見市、庄原市、奥出雲町の沿線自治体の関係者が集い、

質問 11月23日に開催されたJR芸備線・木次線利用促進イベント、県境鉄道サミットの成果、今後について。

一致団結して利用促進を図り、ローカル鉄道を守ろうとする取り組みである。改めて3市町で連携しながら鉄道を生かした様々なイベントや取り組みにより利用促進と地域活性化を図っていく必要があると認識をともにした。



木山庄原市長挨拶

県境鉄道サミットについて

質問 全国の事例を引き合いにトロッコ列車以外の観光列車の運行可能について、JR西日本は木次線では難しいとの理由

転用は老朽化と後ろ側に運転台をつける必要がある無理である。川崎重工が開発したディーゼル機関車の導入はホームや地上設備などの様々な課題があり困難である。新しい機動車を造って観光列車とするには、1両当たり数億円かかり、ま

木次線観光列車運行について

質問 木次線利用促進推進協議会が行っている、「みんな乗って応援！木次線でGO」と定期利用モ

た、完成まで時間がかかる。現在走っている機動車の改造については、必要最低限の車両しかなく転用は難しいとのこと。

ニター事業の利用状況は。

質問 木次線活用推進協議会が行っている、「みんな乗って応援！木次線でGO」と定期利用モ

地域づくり推進課長 「木次線でGO」は11月末現在で件数が108件、人数1968人でうち23件の406名が奥出雲町。定期利用モニター事業は40件あり、その内16件が奥出雲町の方である。



県境鉄道サミット会場